

B-10* 蠟染における蠟材の科学的考察

広島女子短大 水野上 与志子

蠟染の染色効果を支配する要素の一つとして蠟材に対する防染能及びクラックの状態の如何は重要である。蠟材の防染能は熔融蠟の布地に対する浸透，附着の状態により左右され，蠟材の種類及びその使用条件により趣を異にする。入手し易いパラフィン蠟，木蠟，白蠟，密蠟の四種類及びそれ等の調合蠟を使用し，次の如き実験を試み，考察してみた。

- (1) 熔融温度及び凝固温度の測定。
- (2) 熔融温度の変化による粘度の測定。
- (3) 熔融温度変化による蠟層の厚さと防染性。
- (4) ちゃんちん描より見た蠟の種類温度変化による防染能及び蠟描線の太さ。
- (5) クラックに及ぼす伏蠟の温度及び蠟層の厚さ。

(6) 繊維の種類及び布地の厚さと織材との関係。